

平成30年度 学長戦略経費（公募型プロジェクト）研究成果概要報告書

経費の種類	<input type="checkbox"/> 共同研究推進 <input type="checkbox"/> 若手教員研究支援 <input checked="" type="checkbox"/> 個人研究支援 <input type="checkbox"/> 研究推進重点設備 <input type="checkbox"/> 研究推進設備修繕
プロジェクトの名称	「声」のコミュニケーション能力育成のための教育実践 ——能の表現手法に基づいて——
報告者氏名・所属・職名	中西紗織・釧路校・准教授
プロジェクト担当者氏名・所属・職名	中西紗織・釧路校・准教授
研究内容及び成果の概要	
<p>本研究では、「演劇的手法」「コミュニケーション」「教師の資質能力向上」を考え合わせ、日本の伝統的演劇である能の「声」の表現手法に焦点をあて、以下三点について各方法に従い明らかにすることを試みた。</p> <p>(1) 能の表現における「声」と演劇的手法・コミュニケーションとの接点——能の詞章の言葉・「声」の役割の検討、能の稽古見学・体験、能の上演見学など</p> <p>(2) 「声」を使う人々の「声」とコミュニケーションの特徴——身体性と「声」の特徴に関する調査など</p> <p>(3) 教育の場における「声」の実態——「声」による教育活動を行う人々の「声」の実態調査など</p> <p>調査等については継続中である。現時点で以下の五点を再確認することができた。</p> <p>①学習者が「声」によって演じることで、自己・他者のせめぎあいを常を感じ続ける。</p> <p>②学習者が、声の奥底に潜む「声」や声にならない「声」を聴く力を高める。</p> <p>③指導者の「声」と学習者の「声」が相互に影響し合い、相互の関係性にも変化をもたらす。</p> <p>④学習者が、自己と他者の「機」が重なることへの理解を深める。</p> <p>⑤学習者が、「声」の多様性・重層性への認識を深める。</p> <p>川島裕子先生と中西による2018年度集中講義「コミュニケーション実践」においても、能の演劇的手法を活かしながら「声」に焦点化したアクティビティを実施した。また、今年度は演劇的手法を取り入れ研究を進めている高等学校の国語教諭にも参加及びアクティビティのファシリテーターを一部担当していただき、学生たちが自己開示・他者理解・関係性・「声」の力といったことへの理解を深める体験をすることができた。その結果「声」・「息」・「演じる」・「伝える」・「身体性」といったことの重要性に学生が自ら気づき、身体を通して考え理解しようとしていくプロセスが見られた。</p> <p>以上の成果から、教育実践において相互作用的・対話的・創造的なコミュニケーション実践を可能にする、「声」の教育実践モデル構築への示唆を得ることができた。現時点では以下のようにまとめることができる。</p> <p>○能の「声」に照らした「声」の要素、役割、働き、効果などについて分析的に捉える可能性</p> <p>○能の演劇的手法から見える、非言語的コミュニケーションやコミュニケーションの多様性の発見</p> <p>○演劇的手法の理論的枠組みに基づいた、コミュニケーション能力向上のための理論的かつ実践的な「声」の教育実践への具体的展望</p> <p>引き続き理論・実践の両面から「声」の教育実践モデル構築への実際的な方策を探り、研究を続けていく。</p>	
成果の公表の状況	
<p>【著書】川島裕子編、中島裕昭・渡辺貴裕・高尾隆・鈴木直樹・中西紗織他（2018（初版2017））『〈教師〉になる劇場——演劇的手法による学びとコミュニケーションのデザイン——』フィルムアート社。</p> <p>【学術論文】川島裕子・中西紗織（2018）「教師の『声』に関する教育実践に向けて——『演劇的手法によるコミュニケーション教育』による『声』の捉え直し」『北海道教育大学紀要 教育科学編』第69巻第1号、北海道教育大学、pp.269～276。</p>	
教育現場で活用可能な分野・教材等	
<p>本研究の成果は、教師（教師を目指す学生も含めて）の「声」のコミュニケーションに関する資質・能力向上のために活用可能である。また、音楽科における「声」の表現力向上、国語科における音読など「声」を使った実践力や伝える力に結びつくものであり、さらに教科横断的に、声・言葉・身体・コミュニケーション・関係性等に関わる教材開発のために活用可能である。</p>	

配布又はダウンロード可能な資料	上記学術論文は北海道教育大学学術リポジトリにて公開中、ダウンロード可能 http://s-ir.sap.hokkyodai.ac.jp/dspace/handle/123456789/9913
問合わせ先	代表者：中西紗織 電 話： FAX ： mail : nakanishi.saori@k.hokkyodai.ac.jp